

「十三」

コロナ禍において

教頭 濱井孝久



左の写真は、ある大学のパンフレットの一部です。よく見る交通標識かと思えば、どうやら違います。何の標識か分かりますか？

上から順に・・・。大きなカバンを持っていることから「旅行禁止」。または、大学ですから「帰省禁止」でしょうか。真ん中は、「映画館禁止」でしょうか。密閉した場所へは行かないことを示しているのかもしれませんが。最後は「アルコールを伴う飲食会の禁止」でしょうか。大学の正面入口にこのような標識が置いてあると「面白さ」と同時に「守ろう」という気持ちになりますね。かなり効果はありそうです。

パンフレットをよく読んでみると、この標識は美術大学に通う生徒の作品だったということが分かりました。コロナ禍においても、創作意欲を失わず、今の時代を上手に生き抜いている感じがします。

私たちも負けてはいられません。「禁止」の言葉にすべてを停止する必要はありません。こんな時代だからこそ、一人一人が自分にしかできないこと、自分がやりたいことを見つけて、積極的に活動していくことを意識したいものです。

◆◆◆ 3学期のアクションプランの取組について ◆◆◆

アクションプラン1 学び合い、共に高める学習活動

アクションプラン1のキーワードは、「学び合い、共に高める学習活動」です。2学期に引き続き、「学び合い」の場を設定し、各教科でグループ討議やペア学習を活用しながら「共に高め合う学習活動」を実践しました。また、2年生は技術の授業で、竹ドームに設置する「ベンチ製作」に取り組み、グループで話し合い、試行錯誤しながら作業を進めています。生徒同士の関わり合いの中から、学ぶ喜びと意欲が高められるよう、次年度も取り組んでいきます。

各教科で取り組んできた小テスト・コンテストも継続し、基礎・基本の振り返りをしました。漢字・英単語・基礎用語等を繰り返し復習することで、定着の度合いも高まってきました。また、授業が始まる前に、出題される内容をノート等で確認する姿もよく見られるようになりました。特に、3年生は受験が近づくにつれ、集中して取り組むようになり、正答率も大幅に向上しました。次年度も基礎・基本を大切に、学びを実感できるよう取り組んでいきます。



1年国語 グループディスカッション



2年技術・家庭科 ベンチ製作

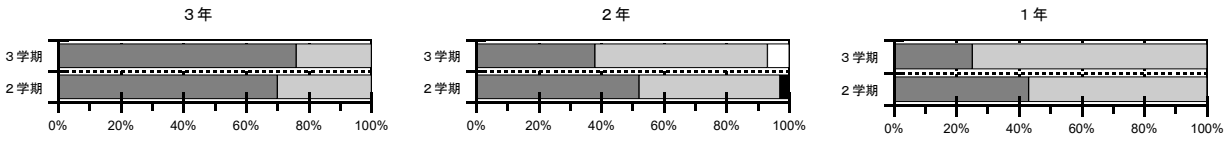


3年理科 電子黒板を活用

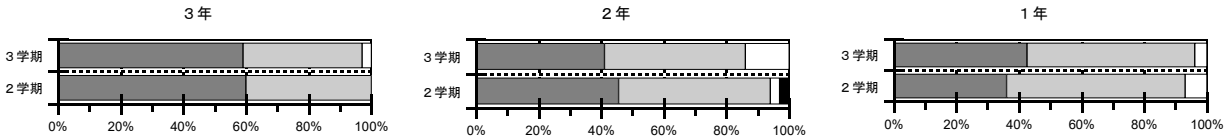
【学校評価アンケート（生徒）の結果】

: A よくあてはまる
 : B だいたいあてはまる
 : C あまりあてはまらない
 : D まったくあてはまらない

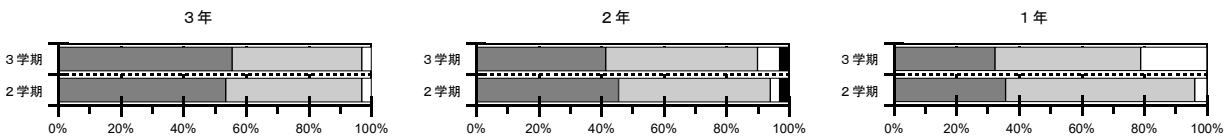
1 授業では、学習の目標を理解して、学習活動に取り組むことができた。



2 授業では、課題に対して自分で考え、進んで取り組むことができた。



3 授業で学習したことを振り返り、理解することができた。



アクションプラン2 仲間を認め合い、支え合う態度の育成

アクションプラン2のキーワードは「仲間を認め合い、支え合う態度の育成」です。生徒同士が関わり合いの中から、共に高め合う集団づくりを心がけています。大雪から始まった3学期でしたが、生徒会を中心に自主的に生徒玄関や歩道など除雪活動を行い、安全に登下校できるよう協力しました。また、2月には卒業を祝う会を行い、1・2年生は3年生に喜んでもらえるよう、それぞれに工夫を凝らしました。

3年生は目前に迫った卒業に向けて、式歌の練習に励み、最上級生としての姿を見せようと努力しています。2年生は「ウエルカムベイビー事業」や「ライフプランセミナー」を通して、自分の生き方や多くの人に支えられていることについて学ぶ機会となりました。1年生は職業調べを行い、働くことの意義や自分の将来について考えました。今後も、様々な体験活動等を通して、仲間を認め合い、支え合う態度の育成に取り組んでいきます。



除雪活動



ウエルカム・ベイビー事業

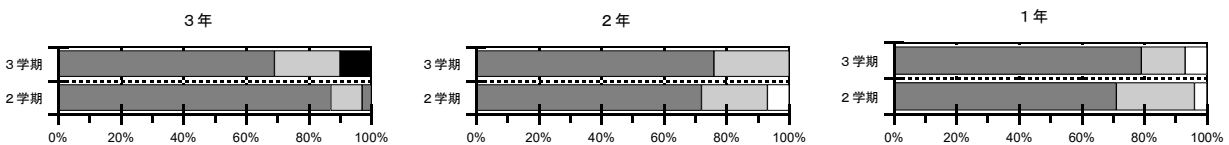


卒業を祝う会

【学校評価アンケート（生徒）の結果】

: A よくあてはまる
 : B だいたいあてはまる
 : C あまりあてはまらない
 : D まったくあてはまらない

4 みんなで協力して物事をやり遂げ、うれしいと感じることができた。



5 自分にはよいところがあると思うことができた。

